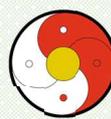


日之本元極通信



気功教室

日之本元極

2021年1月号

増田老師より 新年のご挨拶

新 総訣

あけましておめでとう
ございます。

世界は、今、本当の変革
の時を迎えています。

2020年12月24日、こ
の日から世界は大きく変
わっていきます。多く
の、先に希望の持てる
人々の頭に、スイカズラの花が付く事になり
ました。スイカズラの花は、人々の思考を変
えていきます。さて、どんな変化が起こるの
でしょうか？元極功法も変わっていきます。

まず、12/21に開催された冬至講座から追
加・変更された総訣についてお話したいと思
います。

私は、元極功法を始めた頃から、教科書の中
に合点のいかぬことが一つ（多くある中の一
つ）ありました。「十字真言が十ヶ月の胎音
である。」という説明に関してです。

総訣とは、中華元極功法、元極学の「十字
真言」日之本元極功法の「十二字真言」に当
たります。総訣は全ての功訣の親に当たりこ
の総訣からその他の訣は皆派生するのです。

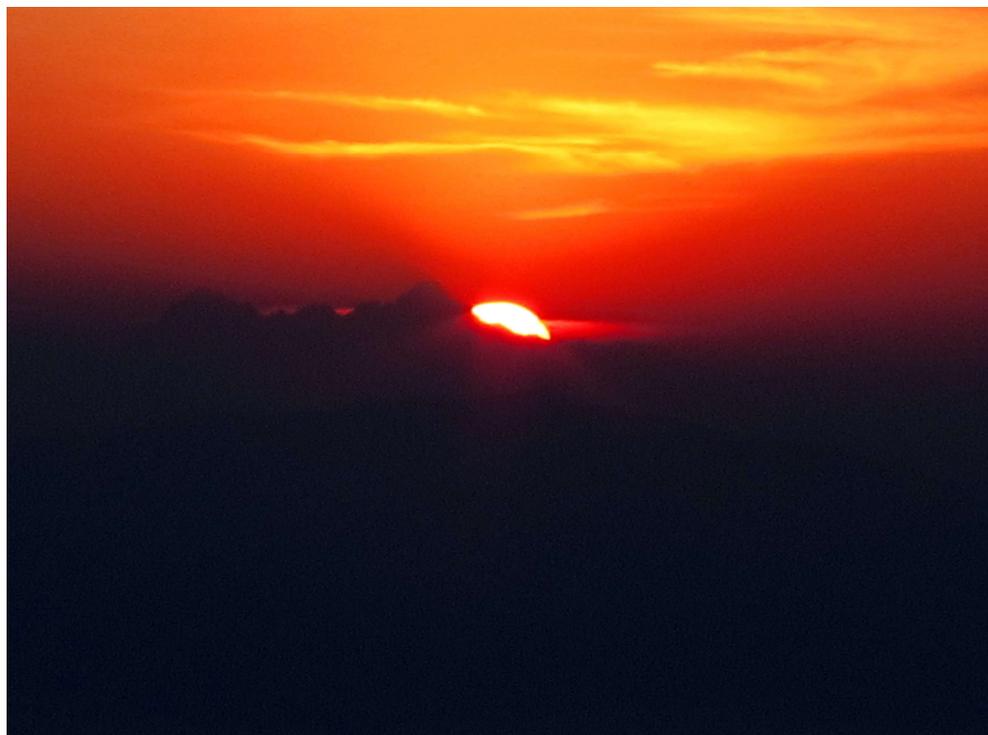
よって、総訣は天地の「元音」、宇宙の成
り立ちの情報を含むと言いながら、人のみの

十ヶ月胎音より成り立つのはおかしいと思っ
たわけです。人は十月十日ですが、犬なら6
3日、鶏なら21日です。全てを包含する訣
が、人の胎音のみから為るのは、甚だ疑問で
す。

そこで、張志祥先生にお聞きしてみました。
(意念による会話でお聞きしています。)
以下がそのお答えです。

十字真言は、宇宙から届いた 暗号です。
それを、まことしやかに説明するために、十
ヶ月の胎音だと説明しました。それは、ちょ
うど十文字だったからです。

発展的にふくらんで「^{テイ}唎」で、終了する
ということは、ひとつの法則がありました。あ
なたがたの十二字真言が「う」で終了するよ
うに、始まりから発展して、終わりがある構



成だということは同じです。

増田が、十二字真言の一文字一文字を説明できないのと同じように、十字真言の一文字一文字も説明ができません。それで、便宜的に胎児の音だと説明したのです。

十字真言は、私が世間に公開するにあたって、知らされた真言であって、元極功法は、もとより、無言で修練をしていました。

多くの人々に公開するにあたって、念訣に集中することによって修練をしていくという方法が求められたので、神によって宇宙の暗号が知らされたのです。この暗号を知らされて、使うことが解かれて、許された訳です。

元極功法の「無字真経」はもともと「音（おん）」も「声（せい）」も形もないものでした。通常の瞑想と同じように、ただひたすら黙って座っているだけのことでした。その中で、ある高いレベルに到達する高德の者達のみが、無字真経を悟るのです。

これが、所謂「無心無為」の境界です。しかし、一般に公開するにあたって、そこまでの導きの手法として十字真言が知らされたのです。ですから、「十ヶ月の胎音」という方便の片方で、「意味を考えず、ひたすら念訣しなさい」と、諭しているのです。

日之本元極になってからでも「十字真言」から「十二字真言」「う」から「うろう」「ひらがな」から「カタカナ」そして、今回の変更があった訳です。宇宙の構造、運行がこんなにたびたび変更されるとは思えませんので、人々の受け取りや理解が上がっていく度に変更されていくのだと思われまます。

ですから、少しでも上のレベルの受け取りができるように修練を頑張ってくださいと思います。

とりあえず、最新の総訣を受け取れますよ

うに冬至講座で開催された「静功の要諦」を受講されますようにご案内申し上げます。

（受講したからといって、その能力が完全に受け取れるとは限りません。）



「スイカズラ」と
読みます

細川講師より新年のご挨拶

大きな転換の時を迎えて

12月27日は、本宮修練舎の大掃除を行います。大勢の修練者の方々に集まっていただいて一年間の汚れ・穢れを取り「清める仕事」をします。

これまでは、寒いこの時期に大掃除をするのではなく、比較的暖かい11月の半ば頃に「掃除」を行っていました。

ご病気の方も多いですし、忙しい年の瀬に集まっていただくことに気が引けたことと、物質的な汚れのみを取れば良いと考えていたからです。

しかしながら、今年は日之本元極が大きな転換を迎えた年です。

2004年10月に「日之本元極」の看板を掲げてから16年間、一切の業務を停止して休むことなど一度もありませんでしたが、2020年9月は、払い清めの月となって1ヶ月もの期間「完全休業」しました。

この転機を迎えて、さらに大きく発展するために、私が決意したことがあります。これまでの慣習に習って歩むのではなく、常に岐路に立っている緊張感を持って、気持ちを新たにすることです。

とりわけ、私の過去に執着しやすい気持ちを払拭して、前を向いて歩いて行きます。

2021年を迎えるに当たって、一意専心の決意を持って前進します。

皆様のご多幸をお祈りしています。



「静功の要諦」について

～細川講師ブログより～

12月21日 高山市本宮修練舎

冬至講座にて公開された「静功の要諦」はそれはそれは、大層な力を授ける講座でした。

「心身共鳴静功法」と唱えるとこれまでの静功とは全く異なり、竅穴に心が強制的に定まってきます。（講座を受講した方だけに力が渡されます）

雑念の多い私の修練でも、何かしらの力が働いて念訣の「音」の響きが竅穴に響き渡り全身に拡がってまるで、宇宙にまでも届いているような「畏怖の念」がこみ上げてきます。

この講座を受講した方々のすべてが、この力を受け取れたかどうかを増田先生が神様に問われると「約2割」とお応えになったそうです。

つまり、この壮大な「心身共鳴静功法」の力はお金で買えるようなモノではなく、講座を受講すれば与えられるモノでもなく、求めれば与えられるモノでもなく、天命に沿った生き方のその結果によって与えられるモノのようです。与えられるためには、もちろん努力も必要です。

今回は、月曜日の講座にもかかわらずチャンス逃がしてはならないと、仕事を休み時

間を作り出した方々、東京や京都、九州からわざわざ時間を作り、金銭を費やして参加くださった方々がおられました。

努力する姿勢もまた天命を受け取って生きる人それぞれの生き方だと思います。

「心身共鳴静功法」と心を込めて念訣をします。「大切な言葉なので上丹田にいつも置いて静功をしています。」とある修練者から、メールが届きました。

上丹田は、極めて敏感な竅穴ですからここに「言葉」を置いたり、念訣したりしてはいけません。このことは、とても大事なことなので、皆さんにもお知らせします。

さらに、付け加えてご案内します。この重要な講座は、階ムの段階の方でも階ヒトの静功を受講していない方でもまだ、入門講座を受講していない方々でも受講されることは可能です。受講は禁止していませんので、どなたが「受講」いただいても構いません。（重要な「力」が渡されるかどうか？ご本人が受け取れるかどうかはもちろん不明です。）

今後の講座の開催は未定です。ぜひとも東京講座での受講をお勧めします。

すいとびーさんブログのご紹介

功法有無フタ

バージョンアップした功法有無フタ、早速夕べ修練しました。

先日の錬功会で貫頂の際、先生が功法有無フタ聞き流しを使用されたときもエネルギーが柔らかくて浸透してくる感じでした。

今回の修練用も始まりはそんな感じでしたが、今までのものと功訣も変わり動作も変わり階フタでは今まで開かなかった場所も開き、こんなにすごい功法が公開されて大丈夫なのかしらと余計な心配をしてしまうほどやはりすごい功法でした。

始まりはやさしく、特に体感を感じなかったものの、進めていくうちにじわじわと効いてきてだんだんと下半身から邪気が出され始め、ある時から一気に出たためか邪気の出やすい右足が急に痛みだしました。

その後、腕や肩も重くなり水平に上げていることすらしんどくなりました。また、途中から猛烈に頭が痒くなり聞き流しの際と同じで頭部から邪気がモワモワと出ました。それだけでなく翌朝は起きたとたんにお腹がいたみトイレにかけこみました。

大きな声では言えませんがとにかくずっとガスが出ていてお腹が変な感じです。翌朝の静功もいつもと違うエネルギーの入り方をしてなんともいたたまれない感覚になりました。

今日、昼間の仕事でも頭のかゆみ足の痛みなどがありこの功法の作用はものすごく長く続くのだなあと驚きました。

体感としては階ム、階ヒトの方がわかりやすいです。でも体感が少ないにもかかわらず後々まで効いてくる感じは階フタが一番強いと思いました。身体の奥の奥まで染み込んで細かい邪気まで洗い流す。そんな感じでしょうか。

頭の中まで浸透してくるので今より賢くなれそうです。よし、がんばろ。

カタカナの功訣にて録音した

功法有無シリーズ、好評発売中です！

功法有無ム SD・CD 5,500 円(税込)

功法有無ヒト SD・CD 11,000 円(税込)

功法有無フタ SD・CD 22,000 円(税込)

功法有無ミ SD・CD 22,000 円(税込)

※功法有無聞き流しも販売中です。

KENさんブログのご紹介

夜の静功と朝の静功

足を怪我して好転反応の痒みがひどくってから、夜の静功が出来なくなりました。痒みが気になって30分座ってられないのです。

一方動功は出来ます。最近は毎日3~4時間は修練するようにしていますが、最後に修練

しようとする、左足があまりにも辛くて10分くらいで横になってしまいます。ただ朝はあまり痒みも気にならずに座っていられます。夜は痒みがひどくくると眠れないので、修練してからでないと寝られません。

途中何回も湿布交換を挟みますが、最近は湿布交換も修練の一つだと思うようになりました。

おそらく日之本元極に通い始めて1番沢山修練していると思います。この状況になってから1ヶ月以上が経ちました。夜の9時から修練を始めて、湿布交換を挟みながら、深夜1時か2時くらいまでやります。

貫頂帯功もやります。休みの日は昼の時間もやっています。たまたま仕事あまり忙しくなく、ほとんど定時で帰っているというのがありますが、ここまで修練をする事は今までなかったです。

それでも夜静功が出来ないのは不思議です。

あめつちやくようもくさくえき 天地屋久用木酢液

こ、こんな入浴剤初めてです。入れた瞬間、お風呂全体が変わる！

やわらかくあたたかいパワーに溢れた「極上の湯」にパッと変わり、自宅で温泉が味わえます。入浴後も、温泉に入ったように身体がぼかぼかして汗がなかなか引きません。

(50代女性)

かゆみが和らぎました。

人工透析をしている80代の父。副作用による身体の痒みがあり、夜中に痒み止めを塗るために起きていました。そんな父に「天のまなみ」で5%程度に希釈した木酢液を入れたお風呂に入ってもらったところ、朝までぐっすり眠れたのです。迷わず購入してよかったです。(50代女性)



550ml 3,300 円